

(様式3)

事業所名 グループホーム敬寿

作成日: 平成 25年 2月 14日

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	身体拘束をしないケアの実践について、マニュアルに基づく勉強会を行なう等で、禁止の対象となる具体的な行為を全職員が理解し、ケアに取り組むことが望まれる。	身体拘束をしないケアの実践について、マニュアルに基づく勉強会を行ない、禁止の対象となる具体的な行為を全職員が理解し、ケアに取り組むことができる。	フロア会議の際に実施した。引き続き、定期的に学習会を実施していく。	0ヶ月
2	7 (5-2)	虐待防止関連法について、全職員が学ぶ機会を持つことで理解を深め、実践に活かせるような取り組みを期待したい。	虐待防止関連法について、全職員が学ぶ機会を持つことで理解を深め、実践に活かすことができる。	フロア会議の際に実施した。引き続き、定期的に学習会を実施していく。	0ヶ月
3	34 (12-2)	今後も引き続き、急変や事故発生時の対応について、研修や訓練を通じて状況に応じた実践力を全職員が身に付けていくことを期待したい。	引き続き、急変や事故発生時の対応について、研修や訓練を通じて状況に応じた実践力を全職員が身に付ける。	引き続き、隣接老人保健施設の講習会に参加したり、必要に応じて研修していく。	12ヶ月
4	49 (18)	一人ひとりの状態や習慣、思いや希望に沿って戸外に出かけられるよう、積極的な支援の取り組みが期待される。	一人ひとりの状態や習慣、思いや希望に沿って、積極的に戸外に出かけられるように、計画・実施に繋げる。	気候や状況、ご本人の健康状態等を考慮して、担当職員を中心に計画し実施していく。	10ヶ月
5	24 (9-2)	生活環境や馴染みの関係を把握することは、一人ひとりの理解に繋がる重要なことである。今後も継続して自宅訪問等で家族から話を聴いたり、友人・知人からの情報収集をする等、一層の取り組みが望まれる。	生活環境や馴染みの関係が把握できるように、主に利用前の自宅訪問等で家族から話を聴いたり、友人・知人からの情報収集をする等で、一層一人ひとりの理解に繋げる。	主に利用前の事前面接の際に、可能な範囲でご自宅を訪問させて頂き、過ごしやすい環境作りに繋げる。	0ヶ月
6	33 (12)	本人だけでなく家族も、重度化した場合や終末期の過ごし方には不安を持っていると考えられる。今後も継続して事業所の体制について早期に説明していく等、方針を共有することが望まれる。	引き続き、事業所の体制について早期に説明し、方針を共有し、本人だけでなく家族とも、重度化した場合や終末期の過ごし方の不安軽減に繋げる。	引き続き、申し込みの際や利用開始時に説明する。また、利用中にも必要に応じて話しをしていく。	0ヶ月